

石薬だより



2024年7月号

索引

- ・石薬のうごき・・・・・・・・・・・・ (2)
- ・部会から・・・・・・・・・・・・ (3)
- ・行雲流水・・・・・・・・・・・・ (5)

一般社団法人 石巻薬剤師会

石巻市大街道西2丁目 1-23

石巻薬剤師会ホームページ

<http://www.ishi-yaku.com>

(会員専用ページログイン)ユーザー名: ishiyakuaturan

パスワード: ishiyaku0225932511

今月の予定

7月10日(水) 第20回IBAN(石巻地域喘息ネットワーク)学術講演会

会場: 石巻グランドホテル 18:45~20:15

7月11日(木) 第10回 石巻赤十字病院 地域連携勉強会

ZOOM使用 19:00~20:00

8月予定

8月 6日(火) 桃生郡医師会学術講演会

会場: 石巻グランドホテルおよびWeb聴講 19:00~20:00

※研修会の詳細は 部会からをご確認ください

🍯石巻市夜間急患センター勤務者募集🍯



平日(お盆含む) (夜間) 19:00~22:00

土、日、祝日 (夜間) 18:00~23:00

年末年始 (夜間) 18:00~23:00

小児科休日当番 (日中) 9:00~17:00

お問い合わせ先 (一社) 石巻薬剤師会事務局 TEL:0225-93-2511

石薬のうごき

令和6年5月26日 ~ 令和6年6月25日まで

年	月	日	行事	場所	備考	担当部会
6	5	29	石巻市医師会学術講演会(アストラゼネカ)	石巻グランドホテルおよびWeb聴講	薬剤師 会場 3名	学術
	5	31	石巻赤十字病院地域医療支援委員会	ハイブリッド形式(石巻赤十字病院+Web)	会長	
	6	6	令和6年度 東松島市在宅医療・介護連携協議会	東松島市役所	榎林	
	6	7	心と体に得する話(健康食品とサプリメントの活用方法)	南浦地区センター	講師:会長	地域医療
	6	11	石巻薬剤師会 地域医療部小委員会	かわまち薬局	榎林、熊谷、沼倉、遠藤、松本	地域医療
	6	15	石巻市地域リハビリテーション活動支援事業	新田憩いの家	講師:伊藤	地域医療
	6	17	令和6年度子育て支援センター事業「お薬の話をきいてみよう」	女川町子育て支援センター	講師:沼倉	地域医療
	6	20	第53回石巻がん医療セミナー	石巻赤十字病院	薬剤師 17名	学術
	6	23	宮城県薬剤師会令和6年度通常総会	宮城県薬剤師会館	代議員	
	6	24	プール水検査①(石巻市立・東松島市立学校)		6/24~6/27まで	学校保健

部会から

学 術 部

学術部担当理事 志田 彰範

～ 第20回IBAN学術講演会のご案内 ～

- ① 「日本薬剤師研修センター認定シール1単位」の申請中です。
- ② 単位取得希望の方はPECS発行のQRコードを忘れずにお持ちください。QRコードを当日お持ちいただけない方は単位取得できません。また、遅刻・途中退出された方も単位取得は出来ませんのでご了承ください。

日 時 : 令和6年7月10日(水) 18:45～20:15

場 所 : 石巻グランドホテル

<プログラム>

座長:IBAN 代表世話人 矢内 勝 先生

指定演題 : 18:45～19:15

『 当薬局における吸入指導の現状(仮) 』

演者:みっと調剤薬局 管理薬剤師 志田 彰範 先生

特別講演 : 19:15～20:15

『 慢性咳嗽の診療最前線

:難治例の病態と治療を含めて 』

演者:名古屋市立大学医学研究科

呼吸器・免疫アレルギー内科学分野

教授 新實 彰男 先生

～第10回 石巻赤十字病院 地域連携勉強会～

この度、肝臓がんの薬物療法と副作用管理についての勉強会を企画しましたので是非ご参加ください。
ZOOMを使用して勉強会を行いますので当日までご準備頂ければ幸いです。

※事前登録が必要です。連携充実加算研修会対象

日時：7月11日(木曜日) 19時00分～20時00分

内容：肝臓がんの薬物療法と副作用管理について

【プログラム】

19時05分～19時20分

irAEと当院の取り組みについて

石巻赤十字病院 薬剤部 川田 彰彦 先生

19時20分～20時00分

肝臓がんの薬物療法と副作用管理について

～何を聴き取る？ irAE～

石巻赤十字病院 薬剤部 伊藤 龍二 先生

ZOOM ミーティング ID: 972 2724 5614

パスコード: 20240711

QRコードが読めない場合、当院ホームページにも同様の案内状を掲載していますので
ご利用ください

【お問い合わせ】主催:石巻赤十字病院 薬剤部 TEL:0225-21-7220 (代表 川田)

行雲流水

今年も前半が終わって自分的に一番印象に残ったのは3月に行われた宮城県薬剤師会主催の薬局製剤研修会です。大人気を博した緊急避妊薬研修会の4日後ということもあるのか受講生4名、講師3名、スタッフ9名という異常事態笑。自分も宮城専務理事の早めに来てねという言葉につられて1時間前には到着。当然、居るのはスタッフばかりでスタッフも自分はスタッフと勘違いしているあのさま。そもそも宮城専務理事が早めに来てねと言った時点で専務もスタッフと勘違いして声がけしているのかも知れない疑惑が…。だって専務もスタッフで専務からスタッフ用資料を配布されたんだもん。

といったアクシデントもありながら受講生4名で研修会スタート、気が付くとスタッフも全員、講義内容に興味津々、いつのまにか受講生13名になりました。

ここから本題、漢方のエキス剤は精油成分が揮発してしまっているで煎じ薬には効果は及ばないことは頭の中では理解しているもの実際のどのへらの違いがあるのかイメージ出来ていなかった。煎じ方「ゆっくもまへ」違つものが出来ることも知っていたが驚くほど違うものが出来たのを目の当たりにしてびっへり。桂枝湯を作ったが3班に分かれてティーパックにいれたまま煎じたもの、ティーパックから出して最初からフルパワーで煎じたもの、最初はちよろちよろで最後にフルパワーで煎じたものを作ってみたら、ちよろちよろから開始したものが一番出来も良かった。ティーバックが一番ダメだった。そして飲んでみたら「ゆっくへら」は効果が出るように感じました。煎じ薬、おそめへし。

